



今年もよろしく

お願いします

山田やすゆき

庁舎建設予算否決

市長辞職願い提出

十二月議会は、市長が議会最終日に庁舎建設に関する予算について、今まで四度否決されていた合併特例債を更に減額し「私のクビと引換えに大切な予算をせひとも市民のために通していただきたい」と異例の表明を行ない、総務委員会ですら審議中に市長は議長に辞職願いを提出いたしました。

市長提出の庁舎建設に合併特例債を充当する予算案を艦載機受入れ承認する議員22名によって、否決されました。

今まで、庁舎建設に合併特例債を充当することに反対していた議員から「合併特例債と国の補助金」を組み込んだ予算修正案が突如提案され、賛成多数で可決されました。

一般質問には21名が質問に立ちました。私は「錦川に関する諸問題」と福祉問題で九月議会に引き続き「後期高齢者医療問題」で質問を行ないました。

錦川に関する諸問題

菅野ダム完成後、山口県は今まで遊水地の役割を果たしていた田畑を埋立、住宅地等に転用を許可し、溜まった砂利を浚渫



大な被害をこうむりました。その後の取り組み状況について質問を行ないました。

答弁がありました。

平瀬ダム建設後

下流域に与える影響

「下流域に与える影響は少なく、水質に万全の対策と平常時流量の減少を起さないことを条件」にしていると答弁しました。

平瀬ダム建設

中止を求める

「昭和43年からの予備調査を経て、昭和63年国庫補助事業として採択された山口県の事業、並びに平成4年の岩国市議会錦川対策特別委員会の中間報告に基づき岩国市として同意した事業」との答弁がありました。

私は「今日の科学技術の発展で、天気予報や雨量予測は事前にはわかる。又、菅野ダムの事前放流やダムの貯水率を50%程度に常時確保していれば、台風等に十分対応は可能」と主張しました。

又、40年も昔・菅野ダム完成後に持ち上がったダム建設、「平成4年当時は建設費350億円、

平成12年度530億円、今日では740億円と2倍以上に膨れ上がり、今、再々評価中で建設事業費はまだ増えることが予想されま

す。専門家の間でも「平瀬ダムは治水能力がない」と指摘されています。

その予算があれば、河床の整備や護岸工事をしっかりやるべき」と主張。さらに、「平瀬ダム建設は錦川流域のかけがえのない自然環境を壊します。

環境と治水を両立させる方法を検討すべき」と述べ、本體工事に入る前に中止するよう求めました。

「この事業は藤河・南桑地区を激甚災害対象地区に指定し、平成17年・21年で80億円投入し河川整備等を行なうものです。平成19年2月末で掘削量は約53立方メートル。事業費は平成18年度までに26億5千万円、平成19年度は18億円、平成20年度以降35億5千万円で浚渫、護岸整備工事を実施中」との答弁がありました。

山口県との協議状況

「激甚災害対象地区以外の砂利堆積の除去・川尻や下地区及び支線の浚渫工事を実施するよう要望し、実施している」との

ジェット機の騒音の苦情

うるさいと思ったら

29 - 5000(岩国市役所)へ

市役所の基地対策課は市民の苦情等をカウントして、米軍岩国基地へ抗議・申し入れを行ないます。

後期高齢者医療制度

九月議会に引き続き再度質問を
行ないました。

今年4月から「後期高齢者医療制度」が導入されます。75歳以上の方々は、今加入している医療保険を脱退させられ、新しい「後期高齢者だけの医療保険」に組み入れられます。

この制度は、自民・公明の政権が医療制度改革の一環として導入しました。

後期高齢者医療制度 実施に伴う市民負担

この制度に移行すると「国民健康保険で1人世帯の場合保険料は535円減額、国民健康保険2人世帯で年額17・410円の増額、又、国民健康保険2人世帯で1人のみが移行の場合10・745円増額。

岩国市内に年金月額1万5千円の方々は1千5百人、無年金者や低年金者の対象者は全体で約2万1千人おられる」と答弁しました。

軽減措置

「保険料の均等割り額が同一世帯内の被保険者および世帯主の

総所得金額等に合わせ、国民健康保険と同様、7割5割、2割の軽減制度がある」と答弁しました。

制度の中止を求める

「高齢化が進み、医療費が増大する中、医療保険や介護保険の安定運営など、社会保障制度の充実を目指し、市民が老後も安心して暮らせる街づくりを目指す」と答弁しました。

私は、これまで老人保健制度で医療を受けてきた65歳から74歳の障害者や寝たきりの人も「後期高齢者医療制度」の対象になること、更に75歳以上でこれまで扶養家族のため保険料を払っていなかった人も保険料を払うことになることを指摘しました。

月額1万5千円以上の年金受給者は保険料と介護保険料を年金天引きになると生活が出来なくなり、保険料を1年以上滞納すると保険証を取上げられ自己負担となります。

このような悪法は早く止めるよう主張しました。



民主主義と自治を守る議員有志の会」結成

この会は、昨年、錦帯橋の1万人集会を成功させた議員で構成し、今回の市長選を「民主主義と自治を守る為の選挙」と位置づけ、同じ理念・理想を掲げて立候補した井原前市長を「勝手連」で応援する超党派の県議・市議の会です。

新庁舎建設費に合併特例債を 充てる予算案を提案

井原市長は市議会本会議場で31億7千4百万円の合併特例債と庁舎整備基金の3億円を市庁舎建設費に充てる予算案を提案し、このクビと引換えに、市民のために(予算を)通して欲しい」と述べました。

容認派の議員は修正予算案を提出

米空母艦載機の岩国移転を容認する議員から、突如、市長提案の予算案(合併特例債)を4億8千万円減額し、その分を国からの補助金に替える修正案を提案してきました。

修正案を出すのであれば、市長が予算案を提出した時に出すのが議会本来のあり方です。国からの補助金は艦載機移転を容認しない限り補助金は交付されません。

岩国市議の修正予算案への賛否

会派名	議員名	賛否
市政クラブ	岡部 秀樹	○
	綱田 忠雄	○
	細川 正行	○
	前野 弘明	○
副政会	貴船 一広	○
	藤本 泰也	○
	藤本 正女	○
	井上 昭治	○
公明党議員団	河合 伸治	○
	河本 千代子	○
	越沢 二代	○
	石本 崇	○
政和会	片山 原治	○
	藤本 建治	○
	松本 久次	○
	味村 應征	○
憲政クラブ	桑原 敏幸	○
	西村 幸博	○
	林 雅之	○
	石原 真子	○
清風クラブ	姫野 敦子	×
	藤井 貴史	×
	村中 洋子	×
	大西 明子	×
共産党市議団	藤本 博司	×
	古谷 清子	×
	山田 泰之	×
	重岡 邦昭	×
市民クラブ	野口 進	×
	渡 吉弘	×
リベラル岩国無所属	田村 順玄	○
	武田 正之	○

敬称略。○は賛成、×は反対。高田和博議長(政和会)は除く